

教員名

山川 拓也

企画名

第11回関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテストへの取り組みならびに株式会社読売旅行との協働

商品開発型
地域活性化型
企業



企画・活動概要

関空発『学生と旅行会社でつくる』海外旅行企画コンテストは、関西国際空港発着の国際線航空便を利用して訪問可能な国・地域への「学生らしい斬新な発想かつ実効性のある旅行企画」を募る公募型コンテストである。第11回となる今回は40組が応募し、予選を経て7組が最終審査に進出した。9月19日に最終審査会が行われ、事前に提出していた企画書類の内容と当日のプレゼンテーションの総合判定により、準グランプリを獲得した。

当該コンテストでは、最終審査進出チームに対して、(一社)日本旅行業協会によって同協会に加盟する旅行会社が企画メンターとしてマッチングされ、実際の旅行会社と協働して旅行商品を作り上げる機会が与えられる。本学には株式会社読売旅行がマッチングされ、同社のサポートを受けながら学生達は企画の磨き上げを行い、旅行商品を作り上げた。

経緯・背景・目的

当該コンテストでは一次審査通過企画に対して旅行会社と協働して旅行商品を作り上げる機会が与えられることから、研究演習 I (2019年10月～2020年3月)でのPBLとして3～4名からなるチームを編成した上で、2企画(日・中・台からの学生チームによるトルコ旅行、日・台・越からの学生チームによるドイツ旅行)を応募した。
一次審査を通過した1チーム(トルコ)が最終審査に進むこととなり、実際に旅行会社がマッチングされることになったことから、2020年度の社会共創案件に格上げし、大学からの支援を受けた。

取り組む課題

観光商品マーケティングに関する専門知識を活用し、「学生らしい斬新な発想」と「旅行商品としての実行性」の両立を図り、具体的な企画として提示すること。



アイデアを凝り固めて
強固な企画案を、最終的な
企画案として提示する
企画案の強固さを、企画案
の強固さとして提示する
企画案の強固さを、企画案
の強固さとして提示する



本学(学生)の役割

企画メンター(株式会社読売旅行)の指導を受けながら、第一次審査で考えた企画をブラッシュアップすること。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

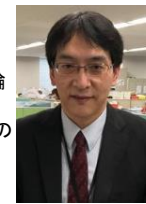
学生による活動後の振り返りでは、「社会人になった時のリアルを疑似体験することができ、実社会や企業のマーケティング活動をイメージしやすくなった。これまでも授業等で企画を行うことはあったが、実際に販売する時までを想像することは困難であった。実際の旅行会社との協働経験を通して、企画技術やノウハウに限らず、社会の中で協働して価値を創造することの苦労や喜びも同時に学ぶことができた」といった総括的意見が出た。

今回の取り組みを通して、学生達は、「主体性」「責任感」(前に踏み出す力)、最後まで諦めずに考え抜く力、チームで働く力、異文化協働力などといった幅広い能力を修養ができたと考える。

指導教員および関係者の紹介



人間社会学部 観光学科
准教授 山川 拓也
専門: 観光経済学、観光商品論



株式会社読売旅行
海外企画仕入部(大阪)
課長 島倉 元 様

観光を通じた異文化体験、観光の
現代的消費構造、観光における
「意味」の消費に関心を寄せる。